



⊗ 市民と議会をつなぐ

議会だより

2024
第60号

令和6年
3月定例会



「子ども議会」(多久市議会議事堂)



Challenge!!



議員に挑戦! 子ども議会!

多久市内の義務教育学校 6 年生が議員役を務め「子ども議会」を 1 月 28 日に多久市議会議事堂で開催しました。架空の条例案を巡って真剣な討論が行われました。6 人の子ども議員の皆さん全員が自分の意見を堂々と主張されました。



議案甲第一号

SAGA2024国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会において多久市内全児童のボランティアスタッフとしての参加を推進する条例

提案理由 弓道競技とスポーツクライミング競技が多久市内で行われるため、多久市がもっと賑やかで元気あふれる市になるよう、多久市内全児童を対象に、大会開催時にボランティアスタッフとして活躍できる人になるために、この条例を制定する。

違反してボランティアスタッフとして参加しない場合。

- (1) 1 週間オンラインゲームの利用を禁止すること
- (2) 漢字の書き取りを 30 日間毎日 5 ページすること
- (3) 社会奉仕活動を義務付ける。

賛成討論

- ・多くの人と関わることができ、楽しくボランティアができる。参加賞もあるから。
- ・ボランティアは大切なこと。参加賞も検討することだから。

採決

今回提案された議案は採決により、賛成 3、反対 3 で同数のため議長採決により否決されました。

反対討論

- ・ボランティアは自主的に参加するもの。不参加の場合、罰則もあるから。
- ・全員参加なのでトラブルなどが起き、来場者に悪い印象を与えることもあるから。
- ・全員参加のため、ボランティア活動に対するプレッシャーがあり、そのケアがない。また、特典目当てで参加する人がでる。



子ども議会を通して



子ども議員の皆さんにアンケートをとりました。



(2) 子ども議員になって感じたことは

- ・大まかな流れが分かり、楽しかった
- ・発言がこんなに緊張するとは思わなかった
- ・議員は大変だと思った
- ・自分の意見を言って今後の活動に活かせると思うと、発言するのも楽しかった
- ・自分の意見も通って楽しかった
- ・サポート議員が良くしてくれたので良かった

(1) なぜ子ども議員になろうと思ったのか

- ・議員という仕事があるなら、今のうちに経験しておけば将来役に立つと思ったから
- ・面白そうだったから
- ・子ども議会を体験してみたかった
- ・生徒会長になりたいと思って応募した
- ・いつか役立つと思ったから



(4) 多久市が将来 どんな街になって欲しいですか

- ・活気あふれる街
- ・県外から興味を持ってもらえる街
- ・ごみがなく、訪れた人が嬉しい気持ちになる街
- ・豊かで明るい街
- ・人がたくさんいる街
- ・子育て支援や学生割引など、若者にやさしい街

(3) どんな議員になりたいですか

- ・市民のことを大切に考えて判断できる議員になりたい
- ・発言力のある議員になりたい
- ・しっかりした議員になりたい
- ・みんなのことを考えて意見が言える議員になりたい
- ・教科書に残る議員になりたい

Wow...!!



議員からの感想

- ・多久に住んでもらいたい、多久にもっと来てほしいといった意見が多く聞かれました。多久の人口が減り続けることに対する子どもたちの危機意識のあらわれだと思います。
- ・次の子ども議会では、まちづくりに関わるような議案で、子どもたちに多久のことに向き合ってもらってもいいのではないのでしょうか。

令和6年 3月定例会

令和6年3月市議会定例会は3月1日から3月21日まで（会期21日間）開かれました。今回は6人の議員が市政一般に対する質問を行いました。

3月定例会では、市長から提出されました議案28件（条例9件、予算15件、その他4件）の議案について審査し、いずれも原案どおり可決したほか、議員提出議案1件を可決しました。

3月定例会の主な議案

（甲議案） 予算以外の議案

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

県が示す標準保険税率をもとに、市国民健康保険事業の運営に関する協議会の答申を踏まえて令和6年4月1日より国民健康保険税を改定する案です。

（モデル世帯比較）

・66歳夫婦2人暮らし、年金収入80万円ずつ
（現行）30,200円

←
（改定後）32,000円

◆原案どおり可決しました。

多久市廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例

前回の改定（平成28年）から7年が経過し、物価高騰により経費が増大しているために、し尿処理手数料を令和6年10月1日から改定する案です。

し尿処理手数料（税抜き）18リットルごとに
（現行）186円 ↓ （改定後）216円

◆原案どおり可決しました。

（乙議案） 予算に関する議案

令和5年度多久市一般会計補正予算（第10号）

今回の補正予算は、交付金、補助金の確定による調整及び不用額の減額が主となります。

◆8億3,174万7千円を減額し、予算総額167億2,385万8千円とする補正予算を、原案どおり可決しました。

令和5年度多久市一般会計補正予算（第11号）

・観光施設維持管理に要する経費
（3,540千円）

多久天然温泉タワアの下水道接続工事で岩盤が確認され、工事費増に要する経費

◆354万円を増額し、予算総額167億2,739万8千円とする補正予算を、原案どおり可決しました。

令和6年度多久市一般会計当初予算

（主な事業）

・市政施行70周年記念事業

（5,868千円）

5月1日に市政施行70周年を迎え、記念式典及び特別記念事業として「木育キャラバン」パークゴルフ・グラウンド

ゴルフチャレンジ大会「開運！なんでも鑑定団公開収録」の開催経費

・防犯灯設置補助事業（1,300千円）

各行政区が行う防犯灯設置事業に対して、予定数80基分について防犯協会連合会に対する補助経費

《くわしくは防災安全課へ》



・産後ケア・産婦健康診査事業

（1,091千円）【新規事業】

母親の産後ケアのために、産後2週間および1ヶ月後の産婦健康診査への助成経費

《くわしくは健康増進課へ》



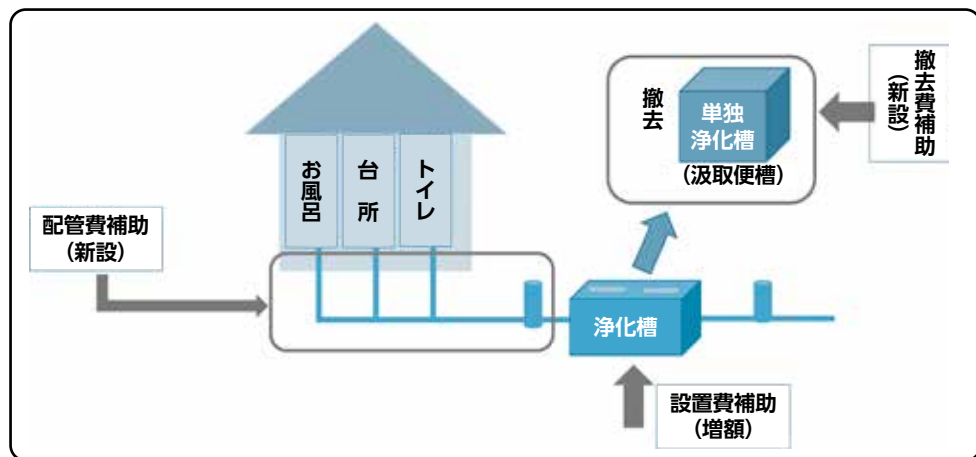
・合併処理浄化槽設置補助事業
(24,964千円)

【増額・新規事業】

浄化槽の工事費用に対して補助金額10万円の増額

単独浄化槽や汲み取り便槽からの転換にかかる費用についての補助の新設

《くわしくは都市建設課へ》



・国スポ飲食店等誘客推進事業
(13,000千円)

SAGA2024国スポ開催時のおもてなしとして、飲食店ガイドブックの作成、プレミアム商品券の販売にかかる経費

1,000円で1,500円分の市内飲食店で使用できるプレミアム付商品券の発行

《くわしくは商工観光課へ》



・防災行政無線更新事業
(29,446千円)

今回の更新で、市内に設置している防災行政無線の長寿命化と電波の到達範囲の拡充を図る経費



・国民スポーツ大会推進事業
(393,417千円)

SAGA2024国民スポーツ大会競技会を開催する経費

◆競技日程

弓道競技会

10月5日～8日

・スポーツクライミング協議会

10月12日～14日



▲多市緑が丘弓道場
(弓道競技会会場)



▲九州クライミングベースSAGA
(スポーツクライミング競技会会場)

・学校給食支援事業
(5,580千円)

給食食料費が高騰している中、給食の質や量を維持し、保護者の負担軽減を図るために物価上昇率相当額を支援する経費



▼令和6年度予算総額として、歳入・歳出ともに174億6,000万円を、原案どおり可決しました。



議案質疑

提出された議案について、議案の提出者（市長か議員）に対して、議案の内容や提案の理由などについて疑問点や不明な点を尋ねること

田渕 厚

■新規出店者誘致支援事業補助金について



Q この事業の詳細は。

A 中心市街地以外の市内の地域で空き店舗などを活用して新たに出店を誘致するために、その改装費を補助する事業で、開店に必要な内装、外装、空調、水回り設備などの工事費を補助対象とし、500千円を上限に補助します。

Q 対象地域を中心市街地以外の地域とした目的は。

A 現在、中心市街地の区域内における空き店舗などへの出店については、一般社団法人たく21がこの

事業と同様の補助事業を実施しています。中心市街地以外の地域は市が補助を行うことで、中心市街地以外の地域も対象となるようにしました。

Q 開店してからの約束事はあるのか。

A 長く営業を続けていただくことが前提となりますので、複数年以上営業を続けることを条件としたと考えています。

Q 資格や選定方法はどうか。

A 暴力団などでないものなど基本的な条件と併せて、今回の補助金の趣旨に沿った条件を設定する予定です。また、選定方法については、書類選考を行い、プレゼンテーションによる2次審査を行います。

中島 慶子

■DX関連事業について



Q コンビニ交付サービス構築について。

A 土日祝日を問わず、6時半から23時までの間、マルチコピー機などが置いてある全国のコンビニエンスストアでマイナンバーカードを使い証明書を取得できるサービスです。

Q 書かない窓口について。

A 市役所窓口での手続きの際、転出証明書やマイナンバーカードの情報を読み取ることで、住所、氏名、生年月日を印字し、各種申請などの手書きする項目を最小限に抑えるものです。

Q 証明書など発行手数料キャッシュレス環境構築及びセミセルフレジについて。

A 現在は証明書など発行手数料の支払い方法は、現金払いのみとなっていますが、今後はクレジットカードやQRコード決済が可能となるような、キャッシュレス機器を導入し、同時に自動釣銭機能を搭載したセミセルフレジを導入するものです。

Q オンライン施設予約構築及びスマート鍵ボックス設置について。

A 24時間、場所を問わず、お手持ちのスマートフォンやパソコンにより、オンラインで施設利用の申請を行うことができるサービス。スマート鍵ボックスについては、鍵の収納ボックスを設置し、オンラインで通知されたパスワードでボックスを開錠することにより、利用者の利便性の向上、施設管理の業務軽減を図るものです。

市丸 勝義

■多久市中小企業融資金の貸し付けの一部改正について



Q 多久市中小企業融資金の制度の詳細は。

A 市、金融機関、信用保証協会の3つの機関が連携して実行する融資で、制度融資といわれます。市が一定の資金を金融機関に預け入れ、金融機関はその預託金に自己資金を加えた金額を融資資金として融資を行うものです。市はこの制度を利用される中小企業の負担を軽減するため、信用保証協会に信用保証料の全額を補給しています。

Q 今回の改正での変更点と目的は。

A 融資の申込みの方法について、これまで多久市商工会が窓口となり、市が貸し付けの決定を行っていたものを直接金融機関へ申し込むこととし、より迅速に融資が行われるようにするものです。

Q 事業者はコロナ自粛時の運転資金借入れの負担が大きいようですので、広報については。

A 多久市商工会など関係団体と金融懇談会を開催し、地域の小規模事業者の業種ごとの景気感や資金需要の動向、コロナ関連の貸付け後の借換えニーズ状況など情報共有を行っているところで、市としても、融資制度の継続やその情報発信に努めていきます。

一般質問一覧表

多久の
気になる
課題



坂口 絹代 議員

『防災について』
『乳幼児健診について』



廣橋 時則 議員

『多久市の2050年の大幅な人口減少
推計について』



渡島 幸司 議員

『SAGA2024国民スポーツ大会につ
いて』
『ネーミングライツ（施設命名権）導
入について』



田渕 厚 議員

『市職員の人材確保について』

中島 慶子 議員

『「地域猫」活動について』
『地域公共交通（ふれあいバス・タ
クシー）について』

香月 正則 議員

『市道について』
『交流スペース彩りについて』



防災について

坂口 住宅、小中学校、病院、防災拠点となる公共施設の耐震化について、またその手立てはあるのか。

答弁 多久市の住宅の耐震化率について直近の平成30年で見れば67・4%となっています。

市庁舎、病院、公民館や体育館、学校や社会福祉施設などの耐震化率は100%となっています。耐震診断は個人負担は5千円で受けられ耐震改修にかかる工事費用に対して補助率は80%で費用が125万円を超える場合は補助上限100万円の補助を行っています。申請者の負担を軽減し耐震化普及促進を進めるためにも代理受領制度（工事費から補助金を引いた金額を施工業者に支払う）と同様な補助金の受領について多久市では施工業者などに委任する受領委任払いという方法もありますので、この受領委任払いの制度を今後検討していきたい。



乳幼児健診について

坂口 多久市では3歳半から6歳まで健診がない。5歳児健診は発達障害などの心身の異常を早期発見するために必要と言われている。5歳児健診がない多久市のフォローは。

答弁 1歳半健診の時から体の発達や言葉の発達、二次問診票を用いて社会性の発達も確認し、保護者の困り感なども伺いながら必要に応じて医療機関や療育などを紹介し、早期療育に繋げられるよう支援している。



坂口 絹代 議員

多久市の2050年の大幅な人口減少推計について

廣橋 新聞報道では2050年度の多久市の人口を2020年度と比較して、43・7%減の1万306人と、県内ワースト2位の大規模な人口減少を予測している。直近5年間の多久市の人口減少数は。

答弁 5年平均で毎年270人減少しています。

廣橋 定住対策どうなっているか。

答弁 5つの定住対策を行っています。ですが、事業費が多いのは子育て・若者世帯定住奨励金は、令和4年度、35世帯138人に合計で15,800千円の補助を行っています。

廣橋 ここ10年、人口が横ばいで推移している江北町は、駅南側一帯の農地をインフラの整備を行い民間の宅地開発を誘引し、新興住宅地だけで2,000人が居住する一大タウンの実現に成功している。ふるさと納税を使って給食費の完全無償化も実施している。今年度の最終的なふるさと納税はいくらぐらいになるか。

答弁 約3億円程度増加し、最終的には1,435,000千円程度。



廣橋 時則 議員

廣橋 昨年9月議会では提案したふるさと納税を使った子育て支援の0歳児から2歳児の保育料の無償化はどうなっているか。

答弁 令和7年度より新しい定住奨励制度を開始します。これまでの提案は、今後の施策の案として、改正に向けた協議の中で検討していきます。

廣橋 新たな大規模な住宅地開発は。

答弁 現在のところ市が主体として宅地造成事業を行う予定はございません。

廣橋 現在、雇用が望める企業誘致の取り組みは。

答弁 企業から多久市に進出したいというお話もあり、水面下ではありますが、誘致については進めています。

廣橋 このまま何もしなければ、人もない活気もない、とんでもない多久市を子どもたち残すことになる。将来に不安のない多久市を目指して人口対策に取り組んでいただきたい。

ネーミングライツ（施設命名権）導入について

渡島 メリット、デメリットは。

答弁

【メリット】

企業側にとって広告効果や地域貢献としてブランド価値の向上、地域のイベントの実施ができれば、地域活性化につながることで、企業のイメージアップにもなります。また、施設側は企業や団体から対価を得ることができるため、自治体の新たな財源を確保することが考えられます。

【デメリット】

契約期間で施設名が変わる可能性があります。また、地域に根差した施設ほど、企業名をつけることに地域の皆様の理解、合意が得られにくいということが考えられます。

渡島 今まで取り組まなかった理由は。

答弁 築年数が経過している施設が非常に多いことがあります。しかし、近年では新たな施設もありますので、令和6年度からの制度導入に向けて検討を進めていきたいと考えています。



渡島 幸司 議員

渡島 西多久多目的運動広場や緑が丘弓道場は。

答弁 いずれの施設も旧小学校の跡地・跡施設利活用事業として、住民の皆様や競技連盟の皆様の意見を伺いながら整備を行った施設であるため、その経緯も考慮し検討する必要があります。



【その他の質問】

▼SAGA2024 国民スポーツ大会について

多久市の人材確保について

田淵 近年の民間企業と地方公務員との給与格差が叫ばれているが市職員の人材確保は大丈夫か。

答弁 民間企業と市職員の大卒・高卒初任給との差があることは報道などを通じて認識をしています。

田淵 多久市の近年の採用状況は。

答弁 一般事務について令和2年度は応募者84人に対して採用は6人、令和3年度は応募者61人に対して採用は8人、令和4年度は応募者99人に対して採用は11人、令和5年度は応募者67人に対して採用は8人です。4年度・5年度は追加募集により職員の確保に努めました。

田淵 福利厚生は。

答弁 佐賀県市町村職員共済組合に加入しており、休暇制度などは他の自治体とほぼ同様の内容になっています。

田淵 会計年度任用職員の実態と処遇は。

答弁 令和6年3月1日時点で214人が在席で、職員全体の40%にあたります。勤務時間は一日6時間を

ベースに雇用しており、給料の平均は月額11万7千4百円です。

田淵 会計年度任用職員の再雇用の基準や評価は。

答弁 全国的には3年間を限度としている自治体が多い中で、多久市は、5年間を基本に更新しており、人事評価に基づき更新しています。



田淵 厚 議員



地域猫活動について

中島 多久市の猫の避妊・去勢手術の補助金が終了に至った経過は。

答弁 補助金は平成29年から実施し、猫の無秩序な繁殖の抑制などを目的とした事業で、1世帯につき2匹までを限度に、猫1匹当り避妊手術4千円、去勢手術2千円でした。令和2年6月改正の動物の愛護及び管理に関する法律で、飼い主による猫の繁殖制限が義務化され、制度の対象が飼い猫であったことから令和4年度をもって終了しました。

中島 その効果は。

答弁 6年間の申請件数は383件で、合計413匹に対し補助金を交付しました。猫の無秩序な繁殖抑制に一定の効果があったものと考えます。

中島 野良猫に対する苦情相談は。

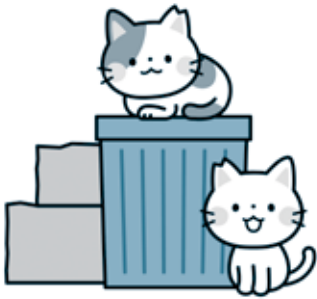
答弁 令和3年度5件、4年度11件、5年度2月末現在まで10件です。市の対応としては、保健所などと連携しながら野良猫にエサを与える人に指導を行っています。

中島 県の地域猫活動支援事業とは。

答弁 地域猫活動に取り組む市町を支援することにより、飼い主のいない猫の適正管理を推進し、生活環境被害の軽減などを図ることを目的とする事業です。地域住民の合意を得たうえで、市町がモデル候補地区を選定、事業計画を県に提出し、モデル地区に指定された後に、避妊手術実施などの地域猫活動支援に取り組むこととなります。市内では、地域住民の合意形成などが課題となり、事業の実施には至っていません。

【その他の質問】

▼地域交通について



中島 慶子 議員

市道について

香月 市で管理している市道の現状はどのようになっているのか。

答弁 全体で703路線、総延長325キロメートルの市道があり、定期的に職員や市道管理業務委託者が道路の点検を行っています。また、点検の際や地元通報による陥没やポットホールについては速やかに補修を実施しています。

香月 市道隣接地から市道内に雑木などが伸び、交通の妨げになる場合の対応は。

答弁 隣接地の土地所有者に行っていた必要があります。土地所有者が対応できない場合は車道部で高さ4・5メートル、歩道部で2・5メートルの範囲を侵しているなど、緊急を要する場合には建設課で対応しています。

香月 中山・長尾線は歩道がなく電柱が市道に立っており、電柱の移設を依頼すると聞いているがどうなっているのか。

答弁 電柱に関しては隣接地、民地などへの設置をお願いしております。占用期間は10年ですが継続の手

続きが行われ、このまま占用するケースがほとんどです。歩道は路肩が狭い状況であり、カラー舗装なども含め警察との協議が必要と考えています。

香月 交流スペース彩りの利用状況、また利用サークルが減った原因は。

答弁 旧むつみ荘が閉館する時点で11団体の利用がありましたが現在は2団体です。現地における食事や使用料などに関して難色を示されていたと分析しています。



香月 正則 議員



議会広報委員会 視察報告

議会広報委員6人は令和6年1月22日に福岡県添田町議会、長崎県波佐見町議会を「議会広報誌」の刷新のため視察を行いました。添田町の議会広報誌は多久市議会「議会だより」と比較して、市民のコメントや写真、イラストを多用し、とにかくわかりやすく、手に取って見たくなる内容でした。添田町では安定し、充実した議会広報誌を作成するためにマニュアルを作成されています。それにより広報の目的や作業内容を明確にすることで意識の統一と作業の標準化を図っています。また、編集方針も住民ニーズに合わせた話題を議会らしく提供し、中学生がわかる内容・文章を心がけています。



波佐見町議会だより



添田町議会だより



議会広報委員会

また、波佐見町の議会広報誌は全編カラーでわかりやすい内容でした。波佐見町議会の議会広報誌の特徴は表紙に波佐見高校美術科の生徒の作品と生徒の顔写真を入れ、親しみやすさを演出していました。また、一般質問の記事は質問者本人が原稿を書いており、多久市でも今後検討課題です。全議員が広報誌の作成に関与するべきとのアドバイスもあり、ノウハウの蓄積という点からも、クオリティを高めるうえでも必要と感じました。今回の視察で今後、多久市議会「議会だより」に活かしていく点は、

- ①「議会だより」の作成マニュアルを制作する
- ②住民へのインタビューを積極的に行い、住民の顔出し、コメントを多用する
- ③文章は文字数を減らし、イラスト・写真を多用し中学生でもわかる内容にする

これらの改善により、多久市民が全世代にわたり「議会だより」を手にとって読んでいただける内容にするため努力していきたいと思っています。



孔子の門人である顔淵（顔回）と子路が、ある日、孔子のそばに侍っていた時、ふと孔子が言われた。「どうだ、お前たち。それぞれに理想とするところを述べてごらん」

すると、まず子路が「車馬衣裘（いせう）朋友とともに之を破りて憾（ご）むこと無からん」

一車でも馬でも上等の上衣でも毛皮の外套でも友達に融通しあい破り捨てても惜しがらぬようになりたい」と熱烈なる友情を述べた。

次に顔淵が「善に誇ること無く労を施すこと無からん」

―自分は他人に善を施してもその功を誇らず、自分でできることなら何事でも労を厭わず自らその労に服し他人にその労を押し付けるようなことはしたくない―と述べた。

そこで子路が「ひとつ、先生の理想をうかがいたいものです」と言ったので、孔子は「若者は之を安んじ朋友は之を信じ少者は之を懐（な）けん」



▲子路

―老人には安心させ、この世を楽に暮らさせたい。友人とは信じて交際を全うしたい。少年はこれを愛して懐（な）け導いてやりたいものだ―

これは論語の「公治長第五」の中の一文である。孔子と二人の高弟との打ち解けた話が見え聞こえるように、子路の友情や顔淵の遠大で高尚な理想に対して、孔子の言葉は天のごとく広く、海のごとく深い。すべての人に対して仁をもってあたる包容力な所が言外に溢れている。

とにかく問題の多い現代社会の中にあって、是非、玩味（がんみ）していただきたい一文である。

論語大学について

かつて、私たちの郷土・多久は先人たちの努力により佐賀藩内はもちろん諸藩に先駆けて邑校・東原庫舎、そして聖廟を建立。この地に「文教の里」を作り上げた。今一度、私たちは先人たちの血のにじむような努力を思い起こし、その実行に努めるべきではないでしょうか。その願いを込め、元学校長 故・不二見達朗氏が30数年前に多久市報に連載寄稿した論語解説を復刻するものです。

編 集 後 記

毎年恒例の子ども議会を1月28日に開催しました。多久市内の義務教育学校6年生、6人が市長らに素朴な質問をぶつけ、実際の議会の雰囲気を感じてくれました。用意した架空の条例案は「児童のボランティア参加を推進する条例」で、今年の秋に開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会で、市内全児童のボランティア参加を推進するという内容でした。家族に付き添われ、不安げに受付をする児童は、いざ議会が始まると一変し生き生きと「子ども議員」の大役を務めてくれました。議案質疑では「ボランティアは自分の意思で行うもの」「優秀なボランティアには特典を与えるとありますが、どんな内容ですか」など、本会議さながらの議論が展開されました。今回参加した児童の中から、いつの日か議員として多久市をけん引してくれる人が誕生することを期待します。その間、我々現職の議員たちが、今回参加してくれた子供たちに、恥ずかしくないような多久市を残していかなければならないと決意を新たにしました。

(広)

